

第4学年1組 社会科授業案

4の1教室

授業者 伊藤 博一

1. 単元名 「郷土栄につたわる願い」

2. 単元の目標

- ・栄校区の昔のくらしや発展に興味を持ち、積極的に調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・戦後のもののない時代からよりよく変わってきた栄校区の様子や先人の思いを考えることができる。(思考・判断)
- ・昔のくらしや栄校区の変遷について、お年寄りに聞いたり、地図や写真などを使ったりして、調べたことを分かりやすくまとめることができる。(観察・資料活用の技能・表現)
- ・栄には昔の古い軍隊の建物などが残っていることを知り、軍隊の町として栄えた郷土が文教地区として発展できた経緯がわかる。(知識・理解)

3. 単元設定の理由

(1) 児童観

子供たちは、人に聞いて調べることは好きで興味はあるが、資料を使った学習は難しいのであまり好きではない。そこで前単元でも行ったが本単元でも校区の人から昔の話を聞くことにより、具体的な昔の栄校区のことを調べていくことをねらいとした。クラスには35人中、10人の父母と3人の祖父母がこの栄小の卒業生である。また、5人の子が祖父母と同居している。前単元の昔の道具調べでは、せんたく板の使い方について4年3組の子供のおばあさんが、昔の秤の使い方については本学級の子供のおじいさんが学校に来ていただき使い方やその頃の話をお話していただいた。おじいさんたちから直接昔の話を聞く機会がなかなかないので子どもたちは興味をもって聞くことができた。記念誌などの資料を使うことも大切だがお年寄りと触れ合っただけで昔の生活を知ることが子どもたちの校区への親しみを高めることにつながるのだから大事にしていきたい。そして、自分たちの校区をさらに発展させていこうという気持ちを持つ子供たちになってほしいと願っている。

(2) 教材観

校区の愛知大学の中には、明治41年建築の旧陸軍第15師団司令部庁舎が国登録の文化財として残っており、菊御紋章や陸軍星マークの跡が残っている。また、正門には「第15師団司令部址」の標柱や旧短大本館(偕行社・陸軍親睦団体の施設)や体育館(旧陸軍大講堂)なども残っている。南部中学校の西側の松林は小学生の通学路になっているが、そこにも火薬庫の門の跡や油をとろうとして傷つけられた松なども残っている。このような施設から、豊橋の町が昔は軍隊の町だったということに気づくことができると思われる。豊橋の町の中でもこの栄校区は軍隊の施設がたくさんあったところである。戦後軍隊がなくなり、その施設を「愛知大学」「時習館高校」「工業高校」「南部中学校」などの学校が再利用し、その後、兵器廠の跡地に「栄小学校」ができ、軍隊の町から文教の町へと変わってきた。そして、校区内に海外からの引揚者の住宅ができたり、大きな工場ができたりして、南栄駅には、学生や高校生でにぎわうようになり人口が増えてきた。その人たちを相手に「栄生マーケット」ができ、「南栄商店街」が発展し、このあたりはいっそう発展してきた。南栄駅は豊橋駅に次いで二番目のにぎわいをみせる町になったのである。

南栄商店街は明治の頃から少しは店があったが、戦後急速に店が増え、南栄商店街として発展してきた。また、栄生マーケットは戦後一度にできた商店街でたいへいにぎわっていたところである。今は店もお客さんも少なくなったがかつてはとても発展してきたところで、戦後の地域の人々の願いや努力によって発展してきたのである。

(お世話になった方)

吉田彌栄さん：栄小学校の第1回の卒業生。現在も校区に住んでいて民生委員をされていて校区の歴史についてよく知っている。子供たちの校区の見学についてきていきいただきいろいろ話をしていた。

水口源彦さん：南栄町の元総代さん。郷土史家で「南栄町物語」という南栄町を中心とした栄の歴史の本を書かれた方である。

(3) 指導観

豊橋の町の中でもこの栄校区は軍隊の施設がたくさんあった所である。祖父母からこの栄が軍隊の町だったことや愛知大学の中や校区のあちこちにその施設や跡が残っていることを聞き、ゲストティーチャーの吉田さんと見学に行き師団司令部などの建物やその当時のことを話していただくことによって、栄が軍隊の町として栄えていたことを確認させる。そこから、戦前と戦後の地図を比較で、栄校区がどのように発展してきたのかを気づかせていきたい。

戦後、使われなくなった軍隊の施設に、当時の行政側の意図もあって愛知大学や時習館高校や工業高校が栄の軍隊施設跡に入るようになった。また、戦後の学制の関係で南部中学校が入り、福岡小学校が人口増加で大きくなったため、栄小学校が設立された。こうして栄校区は学校関係の施設が多くなり、学校ができたことで地域が変わってきたことをつかませたい。

以上のことをつかませるために、栄小学校の第1回卒業生の吉田さんや「南栄町物語」の作者の水口さんにお話を聞いたり、戦前の軍隊があった場所を示す地図や写真と戦後になってからの学校ができた場所や商店を記入させた地図や写真と比べさせることで変わってきた栄をつかませたい。

そして、戦後、栄小学校が陸軍兵器廠の跡地にできた時の様子やその後の栄小学校の歴史を知ることで、今の時代の生活は先人たちの苦労の上に成り立っていることを意識させ、自分たちがこの郷土栄をもっと良くしていこうという気持ちが持てるようにしたい。

4. 単元構想図（19時間完了 社会14時間 総合5時間 本時15／19）

〔子どもの学習の流れ〕

前単元の課題から

昔の道具はいろいろな工夫がしてあってすごいね 昔の人はどんな生活をしていたのかな

おじいさんやおばあさんが子供の頃の栄はどんな町だったのだろうか 社会②
校区の様子を写真でくらべてみよう

昭和4年 ————— 平成10年 話し合い②

- ・南栄には何もないよ
- ・南部中、栄小には木の建物があるよ
- ・自分のところは畑だったよ
 - ・なぜ、たくさん空き地があるのかな
 - ・木造の建物がたくさんあるね
 - ・今でも昔の建物が校区に残っているのかな
- ・住宅がたくさんあるよ
- ・自分の家があったよ

〔重点評価項目〕
関心・意欲
昔の生活に興味を持ち、昔の写真を
見て調べてみよう
という気持ちを、
持つことができたか。
(発言・ノート)

愛大に遊びに言った時におにいさんが古い建物があるって言っていたよ

コンドーパンにパンを買いに言った時に古い煉瓦作りの建物があったよ まだまだ他にもあるかな

栄校区の古いものをさがしてみたいな 総合②（探検） 社会②（話し合い）

見学②

〈旧師団司令部〉 〈火薬庫の門の跡〉 〈松林〉 〈コンドーパン〉 〈中島ちくわ〉 話し合い②

- ・100年もたっているんだね
- ・じょうぶな建物だね
- ・木でできていたね
- ・レベルの高い兵隊さんがいたみたい
- ・三回名前を聞いて答えなかったら、殺してもいいなんてこわいね
- ・夜中もずっと見張っていたなんて、大変だよ
- ・爆弾や火薬をしまっておいたんだね
- ・きずのある松があったね
- ・油をとったみたい
- ・火薬をかいたみたい
- ・風や砂を防ぐ役
- ・明治の終わりのころからやってみよう
- ・煉瓦作りの工場は大正13年にできたみたい
- ・となりにちくわ工場がある
- ・60年前からやってみよう

〔重点評価項目〕
観察・資料活用
栄校区の昔について、おじいさんやおばあさんなどの身近な人の話や見学に行き見てきたことについて、分かりやすくまとめることができたか。
(発言、ノート)

- ・栄は軍隊の町だったのかな
 - ・戦争にかかわるものが多いね
 - ・昔はたくさんお店があったのかな
 - ・今まで続いている店があるなんてすごい
- 古いものがたくさん残っているね

栄校区に戦争にかかわるものや古いお店がどうして残っているのかな 社会④
調べたことを話し合い吉田さんに聞いてみよう

一人調べ②
話し合い①

- 〈戦争を忘れないため〉
 - ・昔のことを忘れないでほしい
 - ・15師団という軍隊があった
 - ・昔軍隊があった記念
 - ・戦争を体験した人たちが戦争のこわさを教えるため
- 〈建物が残った〉
 - ・じょうぶだったから
 - ・空襲で焼けなかった
 - ・愛知大学の校舎として使われたから
 - ・爆弾が落ちなかった
 - ・栄校区には空襲がなかった
- 〈人が多くいた〉
 - ・軍隊が来て人が増えてお客さんが増えた
 - ・軍隊の人にパンを売っていた
 - ・軍隊向けの旅館もあった

ぼくたちが考えたことは本当かな 吉田さんに聞いてもらおう
確かめたいこともあるね 吉田さんの話①

- ・栄校区は昔軍隊の町だったんだね
- ・古い建物などをこわそうとは思わなかったのかな
- ・たくさんの軍隊の人たちに品物を売っていたんだね
- ・100年も前にできたお店がどうして今まで続いたきたのかな

〔重点評価項目〕
知識・理解
栄校区に残る古いものから、栄が昔軍隊の町であることに気づき、その人たちを相手にお店ができて、栄が大きく変わってきたことを理解できたか。
(発言、ノート)

軍隊の人たちが明治の頃に来たからその人たちを相手にお店があったんだね
栄校区は昔軍隊の町だったから、今でも戦争にかかわる物が残っているんだね
でも、戦争が終わったら、軍隊はどうなるのだろう

戦後軍隊がなくなったあと栄の町はどのように変わってきたのだろうか 社会②
戦前と戦後の地図をくらべて考えよう

観察・資料活用
戦前と戦後の地図をくらべて違いに気づくことができたか。
(発言・ノート)

- | | | |
|--|--|-------|
| 戦前の地図 | 戦後の地図 | 話し合い② |
| <ul style="list-style-type: none"> ・軍隊の建物がたくさんあるね ・空き地がたくさんあるね ・住宅は少ないね | <ul style="list-style-type: none"> ・学校がたくさんあるね ・お店もたくさんあるね ・住宅が増えたね | |

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 〈住宅がふえた〉 | 〈商店が増えた〉 | 〈工場ができた〉 | 〈学校ができた〉 |
| ・住宅が増えてい
るね 人も増え
たのかな | ・家がたくさんある
から商店もあると
思う | ・軍隊の仕事がなく
なった人たちの働
く所があるのかな | ・地図を見ると軍隊の
施設のあった所が学
校になっている |

栄は人口増え続けてきたんだね

栄は人口が増えて大きく変わってきたんだね
栄が発展してきたのはどの理由が一番かな

栄が発展してきた一番の理由は何だろう 社会③ 本時 3 / 3

一人調べ②
話し合い①

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 〈住宅が増えた〉 | 〈商店が増えた〉 | 〈工場ができた〉 | 〈学校ができた〉 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・引揚者の人 ・学生 ・元兵隊 ・軍隊の病院が
住宅になった ・開拓団の人 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治の頃からの店
もあった ・戦後たくさんお店
かできた (南栄商店街)
(栄生マーケット) | <ul style="list-style-type: none"> ・緑地公園の近くに
工場ができた ・軍の跡地に工場が
できた | <ul style="list-style-type: none"> ・愛知大学 ・時習館高校 ・工業高校 ・南部中学校 ・栄小学校 |

社会的・思考判断
戦後、地域の人たちの努力によって栄の町が発展してきたことに気づき自分たちも郷土栄を大切にしようとする気持ちを持つことができたか。
(発言、ノート)

学校ができて人口が増えて、お店や工場ができ、住宅が増えてきたんだね
栄校区が発展してきたことを校区の人たちはどう思っているのかな

栄校区の人たちは校区が発展してきたことをどう思っているのだろうか 社会①

- ・みんなで住みよい町にしようがんばってきたんだよ 吉田さんの話①
- ・買い物に便利になって喜んでいよ
- ・学校ができて地域みんなが学校を中心にまとまるようになったよ
- ・南栄は豊橋駅に次いで二番目ににぎやかなところになったんだよ
- ・古いものも記念として残したいと思っていたんだよ

校区が発展してきたのはたくさんの人が住みよい町にしようとしてきたからなんだね
ぼくたちが学習したことをまとめて吉田さんや地域の人達に紹介したいな

栄校区の新聞を作ってみんなに紹介しよう 総合③ 新聞作成③

お世話になった人達に新聞を持って行って栄が発展してきたところを紹介しよう
ぼくたちも古いもの大切にしながら栄校区を発展させていこう

知識・理解
戦後、地域の人たちの努力によって栄の町が発展してきたことを、理解し、新聞にまとめ地域に紹介しようとする事ができたか。
(発言、ノート、新聞)

5. 本時の指導

- (1) 目標 栄校区が終戦をさかいにして大きく変わってきた住宅事情や商店の数や工場の誘致や学校の設置を考える中で、栄が発展してきたことに気づくことができる。
- (2) 準備 教師 —— 校区の人口の変化のグラフ、校区の地図
 児童 —— 校区の地図、資料
- (3) 学習過程

時間	学習の流れ	*支援と留意点	◎評価
10	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">栄校区が発展してきた理由を考えてみよう</p> <p>〈住宅が増えた〉 ・愛知大学ができたから学生が増えたから ・もとの兵隊さんや戦争に行っていた人が帰ってきた 〈工場ができた〉 ・栄校区の南のところに大日本紡績が昭和26年にできて約2000人も人が増えたみたいだよ</p> <p style="text-align: center;">大きく分けると4つの理由が考えられるね</p>	<p>〈商店が増えた〉 ・南栄の商店街も戦後に259号線の東側にたくさんお店ができたんだね。 〈学校ができた〉 ・軍隊の後に愛知大学（昭和21年）・時習館高校（昭和21年）・工業高校（昭和24年）・南部中学校（昭和23年）・栄小学校（昭和27年）</p>	<p>*校区の地図をや写真を見せながら、自分が調べてきたことを発表させる。</p> <p>*調べたことだけでなく、そのことで栄が変わってきたことについて自分が考えたことも発表するように声をかける。</p>
35	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">栄が発展してきた一番の理由は何だろう</p> <p>〈住宅がふえた〉 ・元の兵隊さんか家のない人がきたから家が増えたんだよ ・学校ができて家族が住むようになったから人が増えてきたんだよ</p> <p>〈工場ができた〉 ・工場ができて働く人が来たから人が増えたんだよ ・工場の中には、働く人のための家があったんだよ</p> <p style="text-align: center;"><u>戦後軍隊がなくなり、軍隊の後にたくさんの学校ができたことがきっかけで人が増え、商店や住宅が増え、働く場所ができてきたんだね</u></p>	<p>〈商店が増えた〉 ・お店ができたから人が集まってきたんだよ ・仕事のない人がいてお店を出したから人が集まってきたんだよ</p> <p>〈学校ができた〉 ・戦後、軍隊の跡地にたくさん学校を作ったから人が集まってきたんだよ ・軍隊の建物が残っていて、それを学校がたくさん利用したから人も集まったんだよ</p>	<p>*分からないことや疑問点が出た場合後日、吉田さんに確かめるようにする。</p> <p>*時系列が把握できるように教室の年表を利用する。</p> <p>◎栄の人口が増えた理由を考え、4つの要素がからみあって栄が発展してきたことに気づくことができたか。（発言、ノート）</p>
45	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">今日学習したことのふりかえりを書こう</p> <p>栄が発展したことを地域の人たちはどう思っていたのだろうか 吉田さんに聞いてみたいな</p>		

(4) 評価

- ・A基準 栄が発展してきたのは、4つの要素がからみあって発展してきたことを考える中で、そのきっかけとなったのが軍隊の施設を利用した学校の設置であることに気づいた発言や記入がある。
- ・B基準 栄が発展してきたのは、住宅、商店、工場、学校の4つの要素が絡み合って発展してきたことに気づいた発言や記入がある。